

還暦過ぎても遅くない！ 短大入学し介護事業所開設！！

支援機関 愛媛県よろず支援拠点 支援内容 福祉事業所開設に伴う支援 支援区分 第二創業

マーカバの輪ヘルパーズ

事業者概要

社名／マーカバの輪ヘルパーズ
(有限会社サン電子)
代表者名／代表取締役 竹久保 洋子
業種／福祉事業（訪問介護）
所在地／西条市飯岡2434-29
資本金／3,000,000円
設立／平成29年7月
従業員数／3名



サービスカーと共に働く仲間たち

支援に至る経緯

代表取締役 竹久保洋子氏（以下、「竹久保氏」という）は、創業に向けた事務所探しをお願いしていた地元の不動産業者から愛媛県よろず支援拠点のことを聞き、テクノプラザ愛媛に来訪された。

竹久保氏は、松山東雲短期大学-生活科学科・介護福祉を平成29年3月16日卒業。

亡き祖母と、実母の介護を目の当たりにし、自分自身で介護に関する創業を目指し平成27年4月同校入学。入学当初は小規模多機能ホーム（通い・訪問・泊まり 3種の介護）を目指していたが、訪問介護に絞った創業から始めようと決意。

竹久保氏は、有限会社サン電子の代表取締役として25年間経営者の経験あり。同社は電子機器に関する基板加工を請け負う事業を営んでいたが、15年程前外部環境の変化から同社は事業休眠となった。最盛期には34名の従業員を雇い、その全てが女性という女性社長ならではの事業所として活躍されていた。

当時の思いがあるこの休眠法人を訪問介護事業所として再始動すべく、ミラサポ専門家派遣制度を活用し、加藤佳子アドバイザーと共に開設に向けた支援を行うこととなった。

支援内容

- ・介護事業所開設を志した思いを傾聴し、会社の理念を明確化
- ・事業開始までの流れを解りやすくするためのチェックシートの活用を提案
- ・許認可書類作成など業者委託している部分に関し、自分自身で内容把握としっかりと打ち合わせを行い、記録をとるようアドバイス
- ・経営計画と資金計画を具体的に計画書に落とし込み、構想を明確化
- ・新規事業展開における定款の内容変更事項を確認
- ・訪問介護事業所を展開するに当たって、人員配置や利用者様獲得に向けての手法等についての事前準備ができる事項についてアドバイス

支援の効果

「地元西条市で介護を必要とする方々にとって“愛”のある訪問介護サービスが提供できるよう、小さいながらも温かみのある事業所にしたい。」という竹久保氏の強い気持ちを事業コンセプト化し、創業に向けた必要事項を盛り込んだ「事業計画書」の作成と「事業開始までのチェックシート」の活用で具体的な内容へ落とし込み、その内容と必要性をご理解いただき、訪問介護事業所開設に向けスムーズに進めることができた。

また、開設後新たに障がい福祉サービスの認定を受け、平成30年1月より障がい福祉サービスの提供を開始した。

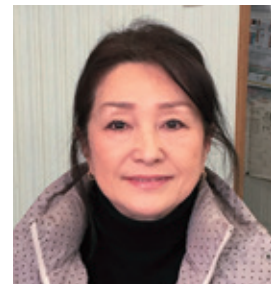
今後の展開

人との関わりを重視し、西条地域に加え新居浜地域へと介護福祉ネットワークを拡張し、“愛”のある介護事業を広めていく。地域の実状・地域の声に耳を傾け、必要とされるサービス提供ができるよう体制を整え、将来的な目標として「グループハウス開設」を掲げ、中長期計画を進めていく。



事業者の声

福祉事業の創業を目指し、大学進学を決意した日から忙しい日々が続いていますが、楽しくて仕方ありません。恩師の大学講師・杉本詠二先生、孫ほど年の差のある同級生、共感を得て一緒に働いてくれる仲間、介護サービスを必要とされる地域の方。いろいろな方々とめぐりあい、皆さんの協力を得て今日に至りました。皆さんへのお礼のためにも、“愛”のある福祉事業を進めていきたいと思えます。



代表取締役 竹久保 洋子

支援者の声

平成29年2月24日に来訪された初回相談、竹久保さんにお会いした時の第一印象は「エネルギッシュな女性」でした。ご自身の目標に突き進み、色々な方々にめぐり合い、気が付けば皆が協力してくれる。そういう潜在的な魅力がある方なのだと思います。

“愛”のある福祉事業、継続・拡張を期待します。



愛媛県よろず支援拠点
コーディネーター 岡本 将広